

【エネルギー分野】東京電力パワーグリッド株式会社栃木総支社

早稲田大学 先進グリッド技術研究所

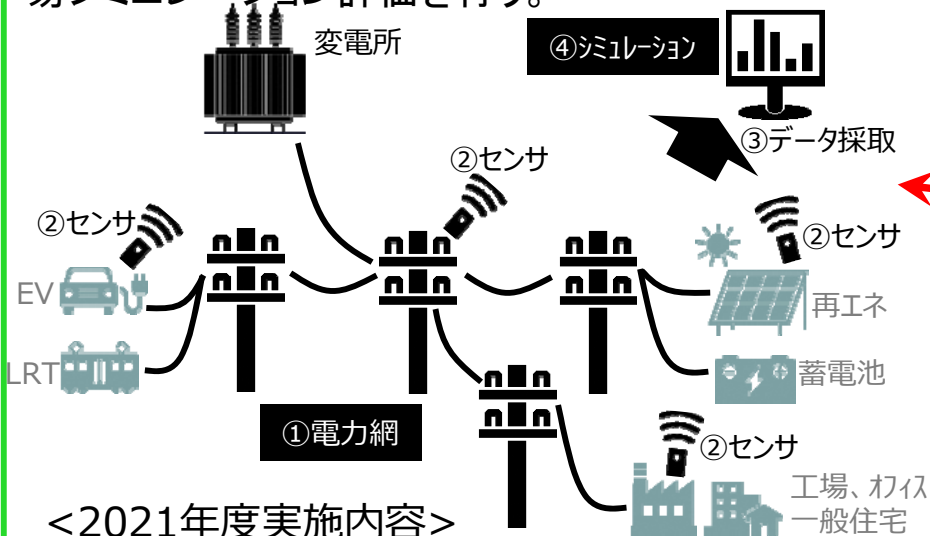
(仮称)再生可能エネルギーの更なる地産地消に向けたエネルギーネットワークプラットフォーム構築プロジェクト

◆ プロジェクトの目的

地域の再生可能エネルギー発電データ、需要家データを活用できる基盤(エネルギーネットワークプラットフォーム)を構築し、電力網の最適運用によるエネルギーの更なる効率的な活用、災害時の自立分散化を実現することで、低炭素で災害に強い街作りに貢献する。

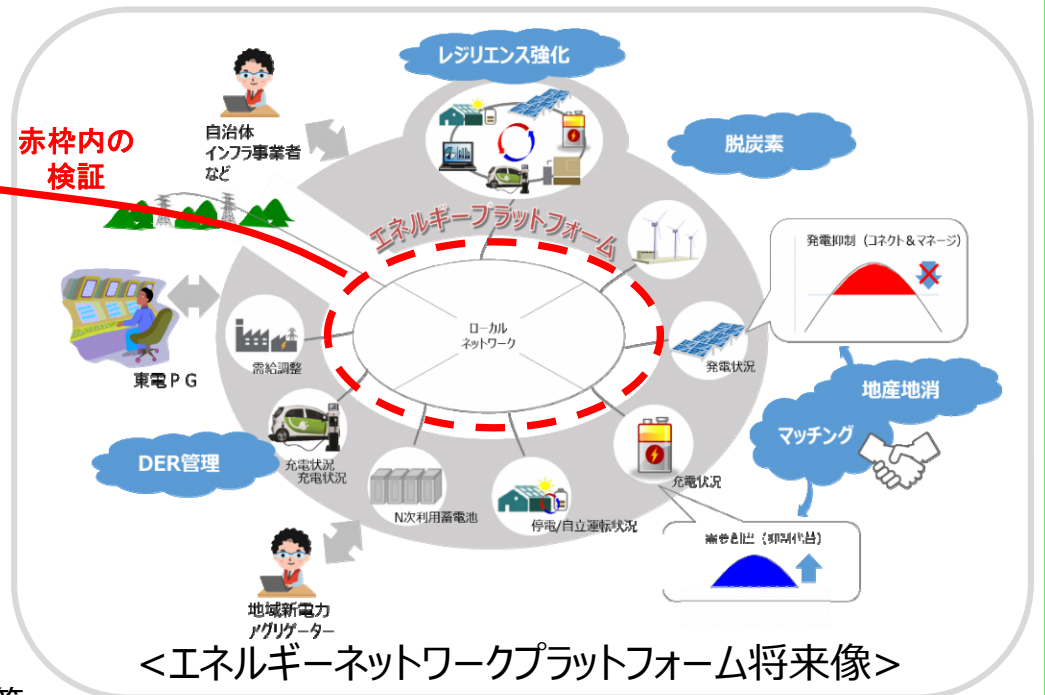
◆ 令和3年度の実証実験の概要

「エネルギーネットワークプラットフォーム」の構築・最適運用に向けて、電力網へのセンサ等の取り付けにより必要となる各種データの採録方法の検証を行う。また、電力網をモデル化した上で、採録した実データを元にして簡易シミュレーション評価を行う。



<2021年度実施内容>

- ①検証対象となる配電線設備の選定・抽出
- ②各所へのセンサ(IT開閉器など)の取付け
- ③電力網・再エネ・各需要家データ(電圧・電流など)の採取
- ④シミュレーションによる地産地消評価⇒脱炭素仮説モデル構築。



<エネルギーネットワークプラットフォーム将来像>

※現時点での検討内容であり、今後の検討過程で変更があります。

事業の詳細については、具体的な内容が固まった段階(7月開催予定の協議会総会后)で、別途プレスリリースを行う予定です。